

会議録

横浜市特別職職員議員報酬等審議会会議録	
日 時	令和6年1月16日（火）17時00分～17時50分
開催場所	市庁舎18階会議室 みなと1・2・3
出席者	秋山委員、上野委員、島崎委員、須田委員、林委員、堀委員
欠席者	片岡委員、菊池委員、住田委員、戸塚委員
開催形態	公開（傍聴者1人）
議 題	特別職給料及び議員報酬の額について
決定事項	特別職給料及び議員報酬の額については据置きとする。
議 事	<p>1 会長互選</p> <p>互選及び会長による指名の結果以下の役割が決定された。</p> <p>会長：須田委員</p> <p>会長職務代理者：上野委員</p> <p>2 議 事 特別職給料及び議員報酬の額について （事務局） 一般職職員の給与改定状況、他都市と比較した場合の特別職の給与等の状況、これまでの改定の経緯等について説明。</p> <p>【審議】</p> <p>（秋山委員） 一般職職員の給料表の改定は若年層を重点的に改定している点や、他都市との比較から、全体的に考えると据置きでよいと考える。</p> <p>（上野委員） 一般職職員の改定状況は若年層中心に厚くした内容となっており、8級の改定状況や、累積改定率が1%台という点を勘案すると、現状は据置きでよいと思う。</p> <p>（島崎委員） 一般職職員の今般の改定を見ると若年層を中心としており、事務局の説明によると上級職の改定率は累積したとしてもまだまだ低いということ、他都市との比較においても実績値はいずれも横浜市が1位となっていること、横浜市財政状況について将来的に収支差額が大きくなることが予想されている中で上方修正する材料も無いことから据置きでよいと思う。</p> <p>（林委員） 一般職職員の改定状況、8級の改定状況等を踏まえ、据置きでよいと思う。今後については、民間企業の動きとして、賃上げのトレンドが高まると思うが、どのような考え方によって議論すべきなのか。累積改定率という参考値だけだと、いつのタイミングで改定するのか判断が難しい。また、改定することとなった際に、その年の一般職職員の改定状況と乖離してしまう懸念がある。次回以降は、累積改定率とは違う、他の指標がないと議論が難しくなると感じた。</p> <p>（堀委員） 個人的には値上げをしてほしい感覚はある。社会的には給料を上げていこうという方針があると思う。ただし、事務局の説明を踏まえると、現状維持が相応しいと考える。</p>

	<p>(事務局) (欠席委員の意見紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般職職員の改定においては、課長以上の管理職の改定はわずかで、若手に配分していることを考えると、今回は据置きが妥当ではないか。中長期的な課題として、特別職の報酬については累積改定率で改定するという方法以外の方法についても検討が必要かもしれない。 ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大後、生活が苦しい方もいらっしゃる中で、そのような社会状況や横浜市と他都市との比較状況等を踏まえると、今回は据置きが妥当ではないかと思う。 ・ 消費者物価高騰の昨今、給与水準の上昇も急務の課題と認識しており、市長等に率先して給料の引き上げを積極的に行ってもらいたいと考える。 <p>しかしながら、一般職職員の改定状況が若年層に重点を置いており、それを踏まえると累積改定率に基づいた改定額よりも小幅となることを勘案すると、仮に今回は据え置くこととなったとしても、やむを得ないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここしばらく改定していない状況ではあるものの、課長級以上の改定率が非常に低いことや、他都市に比べても高い水準にあることなどを考えると、今年度は据置きが妥当ではないか。 <p>【総括】 「据え置くべき」と集約された。</p> <p>3 その他 市長への答申等の案文については、会長に調整を一任することとされた。</p>
資 料	横浜市特別職職員議員報酬等審議会資料 一式